

## イワシ網漁見学（浮島小学校）

10月19日、空の青がひと際高く感じられる日、イワシ網漁の見学をしました。イワシ網漁は、浮島の基幹産業です。4艘の船が連携しながらイワシを囲い込み、引き上げていく様子は、子どもたちの心に浮島のよさとして刻み込まれたと思います。「りょうしの人たちが、いわしあみをおもしろそうにしていたので、ぼくも大人になったら、いわしあみをしてみたいです」という子どもの感想もあり、浮島の未来に希望を感じました。



▲網の引きあげを真剣に見つめる子どもたち

## 地域ぐるみの管楽ミニコンサート（森野小学校）

12月8日、下松市を中心に小学校や保育園などで演奏活動をしているグループ「コンパーニャ」をお招きし、体験学習型の「もりの管楽ミニコンサート」を開催しました。素敵な演奏の合間に、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットを同時演奏し曲を当てるクイズでは、子どもたちがワイワイと楽しく手を挙げていました。地域の方と保護者を合わせ40名以上集まる、地域ぐるみのミニコンサートになりました。



▲曲当てクイズに積極的に答える子どもたち

■問い合わせ 学校教育課 ☎0820(78)2204

## 四境の役一五〇周年連載コラム⑩

大島商船高等専門学校 准教授 田口由香

### ▼大島口の戦い——大島奪回（海戦）——

六月十二日の夜、長州藩政府の出撃命令を受けていた高杉晋作は、丙寅丸に乗り組み、久賀沖の前島に碇泊していた幕府軍艦に夜襲をかけました。富士山丸は松山藩軍応援のため安下庄に碇泊していましたが、艦長の望月大象は、六月十三日の日記に夜襲の様子を書き留めています（『長州征伐日記』（『葦山町史別篇資料集五』所収）。

「昨夜、賊の船に違いないが、夜中の三時頃（十三日午前三時）不意に砲発し、大いに騒動となり、三発目を打ち出す前に旭日丸と八雲丸においても速やかに打ち出したところ、賊の船は大いに狼狽した様子で人の声が甚しくなった。（中略）その後（賊の船は）前島の東の方へ向けて逃げ去り、その上さらに五・六発を（幕府軍艦の方へ）打ち放し、行方が分からなくなった。」

富士山丸は安下庄、翔鶴丸は石炭を積み込むために塩飽島に向かつており、前島に碇泊していたのは旭日丸と八雲丸の二隻

◎次回は「大島口の戦い——大島奪回（陸戦）」についてです。



▲久賀沖の前島